



朝日新聞社大賞 花織絁着物「藍のコンポジション」 能勢 玲子(染織)



西日本新聞社賞
截金飾宮「翠鏡」 江里 朋子(諸工芸)



60回記念賞
白磁鉢 五嶋 竜也(陶芸)



KAB熊本朝日放送賞
櫛盛器「悠」 戸田 純一(木竹工)



QAB琉球朝日放送賞
陶彫割貫彩色「海の防人」 中村 弘峰(人形)

第60回記念 西部伝統工芸展

主催 日本工芸会、日本工芸会西部支部、朝日新聞社

協賛 第一交通産業株式会社

後援 文化庁、山口県、佐賀県、大分県、沖縄県、福岡・熊本・宮崎各県教育委員会、西日本新聞社、
沖縄タイムス社、KBC、KKB 鹿児島放送、KAB 熊本朝日放送、OAB 大分朝日放送、
NCC 長崎文化放送、QAB 琉球朝日放送、朝日カルチャーセンター、NHK 沖縄放送局

2026年6月30日(火)～7月5日(日)〔入場無料〕

おきなわ工芸の杜 (沖縄県豊見城市豊見城 1114-1 TEL 098-987-0467)

開場時間：9:00～18:00 (最終入場は 17:30)



会場アクセス
MAP

第60回記念 西部伝統工芸展

沖縄・九州・山口には、古くから伝えられた多彩で優れた工芸技術があります。本展はこの伝統的な技術を受け継ぎ、練磨し、現代的美意識のもと今日の暮らしに即した新しいものを作り上げることを目的とした展覧会です。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸(硯、^{すずり}截金、^{きりかね}ガラスなど)の7部門の公募作品のうち、「自由作品の部」の入賞、入選作品と「用と美の部」の入賞作品、計173点を展示いたします。沖縄での巡回展は21年ぶりの開催となります。多くの方にご高覧いただければ幸いに存じます。

作品解説(期間中、毎日13時から会場にて開催。各回約40分)

- 6月30日(火) 〈染織〉 鈴田 滋人(重要無形文化財「木版摺更紗」保持者)
- 7月1日(水) 〈陶芸〉 酒井田 柿右衛門(日本工芸会西部支部副幹事)
- 7月2日(木) 〈染織〉 玉那覇 有勝(日本工芸会西部支部幹事)
- 7月3日(金) 〈漆芸〉 松崎 森平(日本工芸会西部支部幹事)
- 7月4日(土) 60回記念展受賞者等による「自作を語る」
話し手：沖縄在住受賞者 能勢 玲子、知念 冬馬ほか
聞き手：玉那覇 有勝
- 7月5日(日) 〈染織〉 築城 則子(日本工芸会西部支部幹事)

60回記念イベント

鈴田滋人×十四代今泉今右衛門×福島善三スペシャルトーク
「西部伝統工芸展と沖縄の工芸～60年の歩みとこれから～」

染織、陶芸分野の重要無形文化財保持者(いわゆる、人間国宝)の三氏を迎え、沖縄・九州で受け継がれてきた工芸の技や地域性、その背景にある思い、これからの工芸についてお話しいただきます。工芸やものづくり、地域文化に関心のある方など、どなたでもご参加いただけます。

日時 2026年6月30日(火)15時～16時30分
会場 おきなわ工芸の杜 染物工房
定員 60名(事前申込制。参加費無料)

●申込方法

専用フォーム(Googleフォーム)、又はハガキに
氏名、郵便番号、住所、電話番号(日中に連絡が付きやすい番号)を明記のうえ
お申し込みください。

●申込・問合せ先

〒812-8511福岡市博多区博多駅前2-1-1朝日新聞福岡本部内
(公社)日本工芸会西部支部 (TEL 092-481-8253)

申込締切 6月15日(月)必着 ※定員になり次第、受付終了。後日参加証を送付いたします。

参加者
募集



専用フォーム



沖縄タイムス社賞
琉球紅型両面臚型着物「燦」 知念 冬馬(染織)



紅型着尺
「初夏の花々・おぼろ型」玉那覇 有勝(染織)



青漆チンポラー螺鈿蒔絵合子 松崎 森平(漆芸)

同時開催

企画展「首里城の華・伝統工芸 人と技」

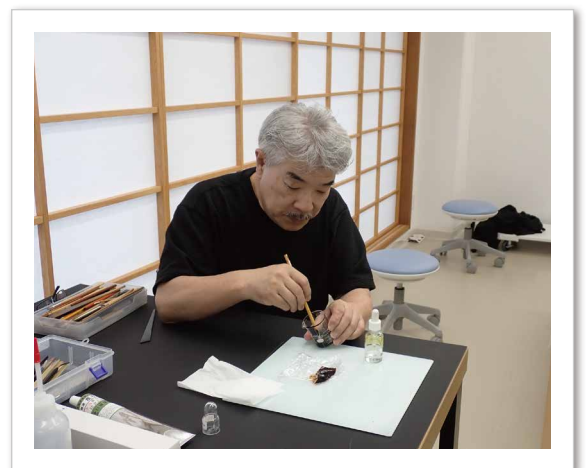
2019年の火災で大きな被害を受けた首里城。復興が進み、今年秋には正殿が完成予定です。しかし、城内の美術工芸品で焼失を免れたものの、修復を必要としている収蔵品は364点にのぼります。本展では、それらの修復や復元に携わる作家や伝統工芸の技をご紹介します。

2026年6月30日(火)～7月5日(日)

開場時間：9:00～18:00(最終入場は17:30)

おきなわ工芸の杜 多目的室[入場無料]

協力：一般財団法人 沖縄美ら島財団



琉球漆器修復等に携わる松本達弥氏(漆芸作家、日本工芸会正会員)